



☆開始式・体験工作①「図面の描き方・箱を作る」廣瀬指導員主幹 4月4日(土)



↑平成27年度の開始式が行われました。本年度のクラブ員は男子17名、女子4名の計21名で出発しました。その内11名が昨年度からの継続者です。例年になく継続者が多く充実した活動が期待できます。開始式には三津会長をはじめ、指導員、保護者とともに大勢の方が参加して下さいました。

↑開始式終了後、ものづくりの基礎である図面の描き方を学びました。3年生には少しむずかしかったかも知れませんが、みんなよくがんばっていました。その後、箱の工夫についても学び、立方体を方眼画用紙で作りました。

☆ 科学技術週間にちなむ記念講演

宗 副会長「すべてはお客様に喜んでいただくために！」4月18日(土)



本年度は、ムネ製薬株式会社取締役副会長の宗泰一(むねたいいち)様に講演をしていただきました。

宗様はご講演のなかで「すべてはお客様に喜んでいただくために！」をモットーにした安全・安心な医薬品の開発について話されました。特に数々の賞をいただき、10年間で2000万本の売り上げを突破したジャバラ式コトブキ浣腸「ひとおし」の開発ストーリーを紹介していただきました。

「必要は発明の母」の言葉のように使う方の身になって、よく考える事が発明の第一歩ですね。

☆科学技術週間にちなむ公開発明教室・体験工作②

「風で動くおもちゃを作ろう」 廣瀬指導員主幹 4月18日(土)



発明の日や有名な発明家、最近の発明などをみんなで考えながら、風の力を利用してヘリコプター・車を作りました。動くものには子どもたちも大喜びでした。

☆出前講座「ロボットカーのセンサ制御に挑戦」(梅原指導員主幹) 5月13日(水)



北淡中学校2年生の皆さんと

平成 24 年度から淡路市内の小学校で始まった出前講座「ロボットを知ろう」も3年間で19校の全校を訪問し、本年度からは市内5中学校を対象にロボット出前講座を始めました。小学校では二足歩行ロボットの実演や色々なロボットの紹介、2個の光センサーのついたロボットカーのプログラミング(黒線上を走る)を実施しました。中学校では3個の光センサーをつけたロボットカーのプログラミング(迷路内のカベをさけて走行)を実施しました。生徒達は興味深く真剣に取り組んでいました。

事務局担当者のご紹介



こんにちは。4月から事務局をさせていただいております、坂口です。どうぞよろしく願いいたします。
一人でも多くの科学好きな子どもたちのお手伝いができると思っています。
発明クラブの中から、将来ノーベル賞を狙える人材が育てばいいですね。

☆協賛企業のご紹介

ミツ精機	株式会社
株式会社	三和製作所
ムネ製薬	山本光学
株式会社	株式会社